

提案者のバックボーン

- ・提案者は、出版社勤務後独立し、出版社を設立。出版事業と並行して、マーケティング支援事業を推進。そのマーケティング事業の拡大モデルとして、「事業の売り」の強化支援をする事業(オンリー腕力発見メソッド)を展開する(日本USP協会創立)。
- ・並行して、マーケティング支援だけではなく、複数の企業が参画できるプラットフォーム事業を研究・実現してきた。出版事業推進の流れで、もともとSDGs推進支援に事業に強い関心を持っていたため、下記事業を進める中、本モデルを発想、研究、企画構築中である。

- SDGs関連で、具現化した(しつつある)モデル
- ・リボーンプロジェクト(ファクトリーロス削減と、一般人の手作り志向、物を大切にするライフスタイルなどを結びつける事業)
- ・次世代向けSDGsチャンネル(企業SDGsコンテンツを学校授業にコーディネートする事業)
- ・アップサイクル・プラットフォーム(企業から出てくる端材を、事業として活用できる企業を結びつけるマッチングポータル)

- 川崎市SDGsプラットフォームの分科会として、「フォレスト・サポート・プロジェクト」を設立、運営中。同分科会メンバーの知見を結集して、本モデルの構築、運営を目指す。

The image displays three screenshots of the '川崎市SDGsプラットフォーム' (City of Kawasaki SDGs Platform) website, specifically focusing on different sub-committees (分科会).

Top Left Screenshot: 「端材「新」活用研究会」分科会 (Waste Material 'New' Utilization Research Sub-committee)

- 分科会長 (事業・団体名):** NPO法人地域学習プラットフォーム研究会 関東ブロック連絡会
- 設立目的・趣旨・概要:** 企業の生産活動において継続的に発生する「端材」を単純に廃棄するのではなく、有効活用するモデルの検討・構築を目指して活動
- 活動計画・活動内容:**
 - 計画: 端材の処理/活用状況の共有、活用方法の共有
 - 活動①: 端材の収集
 - 活動②: アップサイクルモデルの構築・ノウハウ等の収集
 - 活動③: 事例の調査研究
 - 活動④: モデル構築に向けた検討と情報発信
 - 活動⑤: 調査研究に基づくモデル構築に向けた検討をするともに、研究会として情報発信を行う。
 - 活動⑥: セミナー、カンファレンスの実施
 - 活動⑦: 事例やモデルの研究成果等をセミナーやカンファレンスで情報発信するとともに、意見交換を行う。
- 募集したいパートナー:** 川崎市内の製造業企業、生産工程で、端材等が発生し、その廃棄/処理等に費用をかけている企業、発生する端材の付加価値化、新規利用、再利用等を模索している企業
- 参加メンバー:** NPO法人地域学習プラットフォーム研究会関東ブロック【※代表】、株式会社「ナンバーバール」

Top Right Screenshot: 「次世代向けSDGsチャンネル」分科会 (Next-Generation SDGs Channel Sub-committee)

- 分科会長 (事業・団体名):** 株式会社JTB 川崎支店
- 設立目的・趣旨・概要:** 小学生をはじめ、中学生・大学生までの学生をターゲットにした企業等のSDGs活動のコンテンツを提供し、企業訪問や出前講座など学校と企業マッチングするためのポータルサイト「次世代向けSDGsチャンネル」の構築を目指して活動します。
- 活動計画・活動内容:**
 - 計画: 構想的ブラッシュアップ、ヒアリング(マーケティング)
 - 活動①: ニーズヒアリングの調査
 - 活動②: 学校や企業に対してヒアリングを実施
 - 活動③: 教育素材の収集
 - 活動④: 調査をもとに、教育素材を収集
 - 活動⑤: ワークショップの実施(実施)
 - 活動⑥: 教育素材を活用し、複数の小学校でワークショップを実施。
 - 活動⑦: 検証
 - 活動⑧: マッチングポータルサイトの構築に向けてワークショップの結果を検証。
- 募集したいパートナー:** SDGs学習コンテンツを教育現場に提案したい企業
- 参加メンバー:** 株式会社「JTB」川崎支店【※代表】、NPO法人地域学習プラットフォーム研究会関東ブロック【※代表】、株式会社「ナンバーバール」

Bottom Screenshot: 「フォレスト・サポート・プロジェクト」分科会 (Forest Support Project Sub-committee)

- 分科会長 (事業・団体名):** NPO法人地域学習プラットフォーム研究会 関東ブロック連絡会
- 設立目的・趣旨・概要:** 最終目的は、CO2 削減です。その手段として、CO2吸収機能の拡大のために、「CO2吸収機能」を持つ森林の保全・育成・拡大を目指します。分科会としては、森林の保全・育成・拡大の効率的、汎用的な、参入障壁が低い仕組み/スキームの研究・開発とすることを目的に活動します。
- 活動計画・活動内容:**
 - 計画: 森林保全・育成の現状把握、仕組み/スキームの研究・開発
 - 活動①: 調査
 - 活動②: 調査結果の公開、セミナー
 - 活動③: 川崎発(森林保全/山村×企業) モデルの研究(外部有識者との連携)
 - 活動④: 社員向け木育事業・森林見学ツアー等
 - 活動⑤: 企業担当者、当該森林にバスで連れていき、森林保全活動を認識・理解していただくためのブック
- 募集したいパートナー:** 森林保全活動に関心がある企業・団体等、企業・団体等と連携しながら、森林保全活動を推進したい森林・木材関係者、本事業を支援できる企業・団体等
- 参加メンバー:** 地域学習プラットフォーム研究会関東ブロック連絡会【※代表】、株式会社「福田商店」、川崎市で木育を広め隊、NDFメタルコーティングス、かわさき環境教育学習プロジェクト、ITプロダクツ株式会社

